



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会

各地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施（令和4年8月中）

浜松東地区、沼津地区、三島地区の各安全運転管理協会は、それぞれ地区内で発生した交通死亡事故の再発防止を期して、この8月中に、管轄警察署の「死亡事故現場診断」に参加し、事故防止対策を協議しました。

【浜松東地区】

8月4日（木）、浜松東警察署の呼び掛けで、浜松市役所（東区役所）、地元自治会、交通安全協会浜松東地区支部等交通関係団体とともに、浜松東地区安全運転管理協会から小川会長及び仁尾副会長、事務局長の他、会員事業所「㈱飯田組」安全運転管理者の4人が参加、合計27人により

7月17日（日）の夜間、浜松市東区小池町地先の市道で発生した交通死亡事故（普通乗用車と歩行者の衝突事故、歩行者の84歳男性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、片側1車線の見通しの良い直線道路で、参加者による現場診断及び事故防止対策を協議した結果、

- 夜間に発生しており、歩行者に対する反射材着用の広報活動を実施
- 路側帯の電柱が歩行者の進路妨害となる可能性があるため、移設を検討など、活発な意見が出されました。



上2枚【事故現場・現場診断の状況】



下1枚【事故防止対策協議の状況】

【 沼 津 地 区 】

8月22日(月)、沼津警察署の呼び掛けで、沼津市役所、県土木事務所、道路管理者、地元自治会、交通安全協会沼津地区支部等交通関係団体とともに、沼津地区安全運転管理協会から事務局長が参加、合計15人により、

8月12日(金)午後、沼津市志下地先の国道414号で発生した交通死亡事故
(軽四貨物車と歩行者との衝突事故、道路横断中の88歳女性が死亡)
の事故現場診断を行いました。

この事故現場は、片側1車線の歩車道の区別がある見通しの良い直線道路で、大型車両等の交通量が多いが道路幅が狭隘となっており、現場診断等実施した結果、

○ 歩行者、特に高齢者に対する交通安全教室を開催し、身体能力低下の自覚、
交通ルールへの順守や安全な道路横断・歩行を促す交通安全指導を徹底

○ 交通関係団体により、事故現場の通行車両や歩行者に対して、死亡事故発生
を周知する広報活動(SNS等)を推進

など、事故防止対策に関する意見が出されました。



【事故現場・現場診断の状況】

【事故防止検討会の状況】



【三島地区】

8月23日(火)、県警交通企画課と三島警察署の呼び掛けで、国交省沼津河川国道事務所、函南町交通指導員会、三島地区地域交通安全推進委員協議会、地元自治会、交通安全協会三島地区支部等の交通関係団体とともに、三島地区安全運転管理協会から矢岸会長及び事務局長2人が参加、合計14人により

7月20日(水)午前、田方郡函南町桑原地先の国道で発生した交通死亡事故(箱根方面に走行していた大型バイクが転倒、バイク運転の50歳男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

今回の現場診断は、現地が国道で交通量が多く、付近に待機場所となる駐車場が無いことから、参加者の安全確保のため、三島警察署において同署交通課員がビデオ撮影した現場の映像を見ながら現場診断したもので、事故防止対策を協議した結果、

- 速度標識や減速を促す看板を見やすくするよう道路周辺の整備、また「交通死亡事故発生」を注意喚起する看板の設置を検討
- バイク事故の転倒時における保護のため、道の駅やコンビニ等へ二輪車用プロテクターの着用を呼び掛けるポスターや看板を設置

など、今後の事故防止対策に関する意見が出されました。



上2枚【ビデオによる現場診断の状況】



下1枚

【事故防止対策協議で矢岸会長が意見発表】